

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023 年 3 月 3 日

事業所名 Berry Language Academy

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		1階と2階に指導室があるが、移動の際は指導員が誘導・援助を行っている	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		積極的に行われている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		定期的に会議を行い、改善点を指導員間でも共有している	HPだけでなく、文章等での保護者に共有も行っていく
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		送迎の際、フィードバックする上でヒアリングを行っている	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修は定期的に行っている	今後は外部の研修にも積極的に参加出来るよう実施していく	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		月に一度、指導員全員でカンファレンスを行っている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		資料等、完備されています	更に充実させるよう、専門的な資料を増やしていく
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月に一度、指導員全員でカンファレンスを行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月に一度、指導員全員でカンファレンスを行っている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		月に一度、指導員全員でカンファレンスを行っている	更に工夫したイベントを実施する
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		月に一度、指導員全員でカンファレンスを行っている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		カンファレンスとは別に指導員間での話し合いが行われている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		カンファレンスとは別に指導員間での話し合いが行われている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		当日、指導員間で確認を行い、日報作成を行っている	全ての指導員が参画出来るよう研修を行っていく
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		送迎時に保護者とのモニタリングを実施		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		様々な角度からの支援を意識している		

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		指導員全員が参画出来るようにしている		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎がない為、学校との情報共有が難しい場面はあるが、保護者を返して連絡等行っている	更に円滑に情報共有が出来るよう方法を模索していく	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			現在、医療ケアが必要な子どもが居ないが、今後そのようなケースがある可能性を考え、体制を整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			常に情報共有をするよう心掛けている	クラス変更や進学に向けての情報共有も視野に入れて行く
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			常に情報共有をするよう心掛けている	クラス変更や進学に向けての情報共有も視野に入れて行く
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			その都度、連絡し助言を求めている	今までは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、積極的に研修を受けられていなかったが、今後は積極的に研修を受けていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			今までは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、積極的に活動が出来なかったが、今後は視野に入れていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○			今までは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、積極的に活動が出来なかったが、今後視野に入れていく
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎の際、フィードバックを行い共有する時間を設けている	今後も保護者と密に情報共有が出来るよう心掛けていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				更に指導員間でも密に共有を行い、支援を行っていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約の際、規約等の説明を丁寧にしている	更に分かりやすい説明が出来る様、内容をしっかりと把握し、説明が出来るようにしていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				更に保護者の悩みの相談の時間の確保し、深く話が聞けるようにしていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			今までは新型コロナウイルス感染拡大防止の為、積極的に支援が出来なかったが、今後は視野に入れていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				更に迅速に対応出来るように指導員間でも情報共有を徹底していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			事業所の公式LINEを作成し、配信を行っている	イベントカレンダーなど公式LINEから配信を行っているので、様々な情報も共有していく
	35	個人情報に十分注意している	○			鍵付きロッカーに保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			沖縄で行っている言語留学のイベントなど行っている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	2ヶ月に1回避難訓練の実施を行っている	様々な災害・不審者を想定し、避難訓練を実施、指導員も素早く対応が出来るようにしていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	2ヶ月に1回避難訓練の実施を行っている	様々な災害・不審者を想定し、避難訓練を実施、指導員も素早く対応が出来るようにしていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		更に様々な資料を増加し、研修を行っていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	しっかりと保護者に説明をした上で記載している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	緊急連絡票にて保護者に記入して頂いている	全指導員がマニュアルをしっかりと把握し緊急対応が出来るよう研修を行っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	共有されている	